

令和元年度 第1回 大阪府立かわち野高等学校 学校運営協議会 議事録

日時：令和元年7月25日（木）15時30分～16時50分

場所：アクティブラーニングルーム

1. 参加者

1、出席者

委員：5名 事務局：12名

2. 報告

- ・学校概要
- ・教科書選定について

3. 協議

<平成31年度学校経営計画に対する意見・提言等>

- ・遅刻に関しては、最後は本人次第で、社会に出てからも大事なこと。PTAでは学期に1回見守り指導を行っているが、イヤホンをしながら自転車に乗っている生徒が多かった。駆け込み遅刻が多いので、保護者としては事故のないよう啓発している。見守ることしかできていないが、生徒自身で時間管理ができるようになってほしい。
- ・中学校の生徒に進学指導をする際に、なぜこの高校を希望するか聞いたが、「高校見学会に行って、高校生がいい表情をしていた」、「先生の雰囲気よかった」という理由が多い。
- ・定員割れしたことによる影響について教えてほしい。  
→学力や生活習慣において、課題を抱えている生徒が入学している。そのような生徒に対しては、教育サポーターを派遣したり、発達検査を勧めたりして対応している。
- ・遅刻を減らすための奉仕活動は、相反するのでは。奉仕活動したいという生徒が増えてほしい。
- ・遅刻が常態化している生徒に奉仕活動をさせるのは、罰としてさせているように感じる。  
→奉仕活動は罰ではないということは、常日頃生徒たちに伝えている。また、奉仕活動をした生徒の中には、遅刻をしていない生徒が自主的に入った生徒もいた。
- ・部活動は活性化させられるのか。  
→体験入部に積極的に参加するよう指導し、8割の生徒が参加することができた。  
→集会では表彰式を行ったり、部活動の大会やコンクールの応援に行くよう呼びかけたりして、興味を持たせるようにしている。  
→外部指導者を活用し、より細やかな指導をしている。
- ・「専門コース設置校」という点をアピールし、他校の普通科との違いをわかりやすくするべきである。
- ・競合校を意識し、それらの学校との差別化を図るべきである。
- ・保育や看護に行きたい子も多く、そういう分野への強みというところもあればいいのでは。
- ・キャリアコーディネーター、スクールソーシャルワーカー（SSW）の活用について  
→個別にケース相談を行い、今後の見通しを立てている。
- ・多様な生徒が入学してきているが手厚いサポートを行い、将来を切り開いてあげてほしい。
- ・定員割れすると先生の元気が無くなり、モチベーションが下がるので、先生が元気にやっていかないといけない。